

科目名	ビジネス情報	単位数	2	必修選択	選択
教科書	ビジネス情報 (東京法令出版)				
副教材	PASSPORT 2022 3級ビジネス情報編 (とうほう)				

教科・科目の内容

- ハードウェアに関する・ソフトウェアに関する知識
筆記: コンピュータの構成要素、システム開発・運用、性能・障害管理
実技: グループ集計、ピボットテーブル
- 通信ネットワークに関する知識
筆記: 情報モラルとセキュリティ管理、ネットワークに関する知識
実技: ゴールシーク、ソルバー、グループトータル
- 表計算ソフトウェアの活用
・グラフの作成 ・表計算の応用(表・グラフの作成)
- 検定試験出題形式別問題演習

日常生活や将来とのつながり

情報化社会の今日、家庭でも普及しているパソコンを使いこなすことは社会人として必須条件である。本校では、社会と情報を通じてコンピュータに対する基本を学び、本授業を通じて応用である管理・分析・活用する知識や技術を習得する。そしてビジネスに携わるものとしてコンピュータを活用して業務を合理化・自動化するなど、エンドユーザーコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てることを目標とする。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学び、表の検索や文字列の加工など応用的な関数が利用できるようにする。また、教科書・検定用問題集の例題を説明し、練習問題を繰り返すことによって、コンピュータのハード・ソフト・ネットワークに関する知識を身につける。小テスト・定期テスト等で理解度を確認し、検定前には模擬問題集で対策を行う。

到達目標

情報の意義と役割を理解し、コンピュータの応用知識を学ぶと共に、表計算ソフトウェアの利用方法を身につける。1月に全国商業高等学校協会主催情報処理検定ビジネス情報部門の取得を目指す。

評価の観点(評価方法)

- ①関心・意欲・態度(行動観察、提出物)
ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
- ②思考・判断・表現(行動観察、実技問題、提出物・定期試験)
適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考力・判断力・表現力を身につけている。
- ③技能(実技問題、提出物)
ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。
- ④知識・理解(実技問題、定期試験)
ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名	副教材名
3年	ビジネス情報	2	ビジネス情報 (東京法令出版)	PASSPORT2022 3級ビジネス情報編(とうほう)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学 期	表計算の基礎	ハードウェア・ソフトウェアに関する 基礎知識 基本的な関数 基本的なグラフの作成	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	コンピュータの関連知識	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識 通信ネットワークに関する知識 情報モラルとセキュリティに関する知識				
	表計算の応用	順位付けと複合条件 検索の関数 文字列と数値の関数 日時・曜日の関数	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
二 学 期	表計算の応用	関数のネスト 複合参照とマルチシート グループ集計とクロス集計 最適解 応用的なグラフの作成	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	データベースソフトウェアの 活用	リレーショナル型データベース SQL	○	○	○	○
	検定試験出題形式別演習	検定試験模擬演習を行い、理解を深める。				
	※ 期末試験			○	○	○
三 学 期	検定試験出題形式別演習	検定試験模擬演習を行い、理解を深める。				
	複雑なグラフ・関数	A B C分析・Zグラフ・回帰分析等ビジネス の分析を学習する。	○	○	○	○

備考	表計算ソフトウェアの活用は1年を通じて学習します。 「情報処理」(本校では未開講)の内容も副教材を使用して学習します。 全商情報処理検定ビジネス情報部門を受験することができます。(希望者のみ)
----	--